

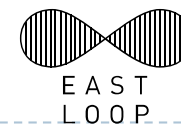
E A S T
L O O P



小さな手仕事で被災地と世界を結ぶ協働事業

NPO法人遠野山・里・暮らしネットワーク
株式会社 福市

EAST LOOP ~心を編み、心を紡ぐ、~



○2011年5月から事業スタート

○作り手さん200名

・岩手県・釜石・大船渡・陸前高田・宮古・大槌
・宮城県・石巻・東松島（登録ベース）

○プロジェクト売上 7,000万円以上

（平成26年末時点）



NPO×企業 協働のあり方

NPO法人遠野山・里・暮らしネットワーク(岩手県遠野市)

- ・ 設立 2003年6月 会長 菊池 新一
- ・ 都市農村交流（グリーン・ツーリズム）による地域の活性化
- ・ 東日本大震災の後方支援活動を継続的を実施



- ・ 被災地とのネットワーク
- ・ 組織体制作り
- ・ 生産管理
- ・ 起業支援

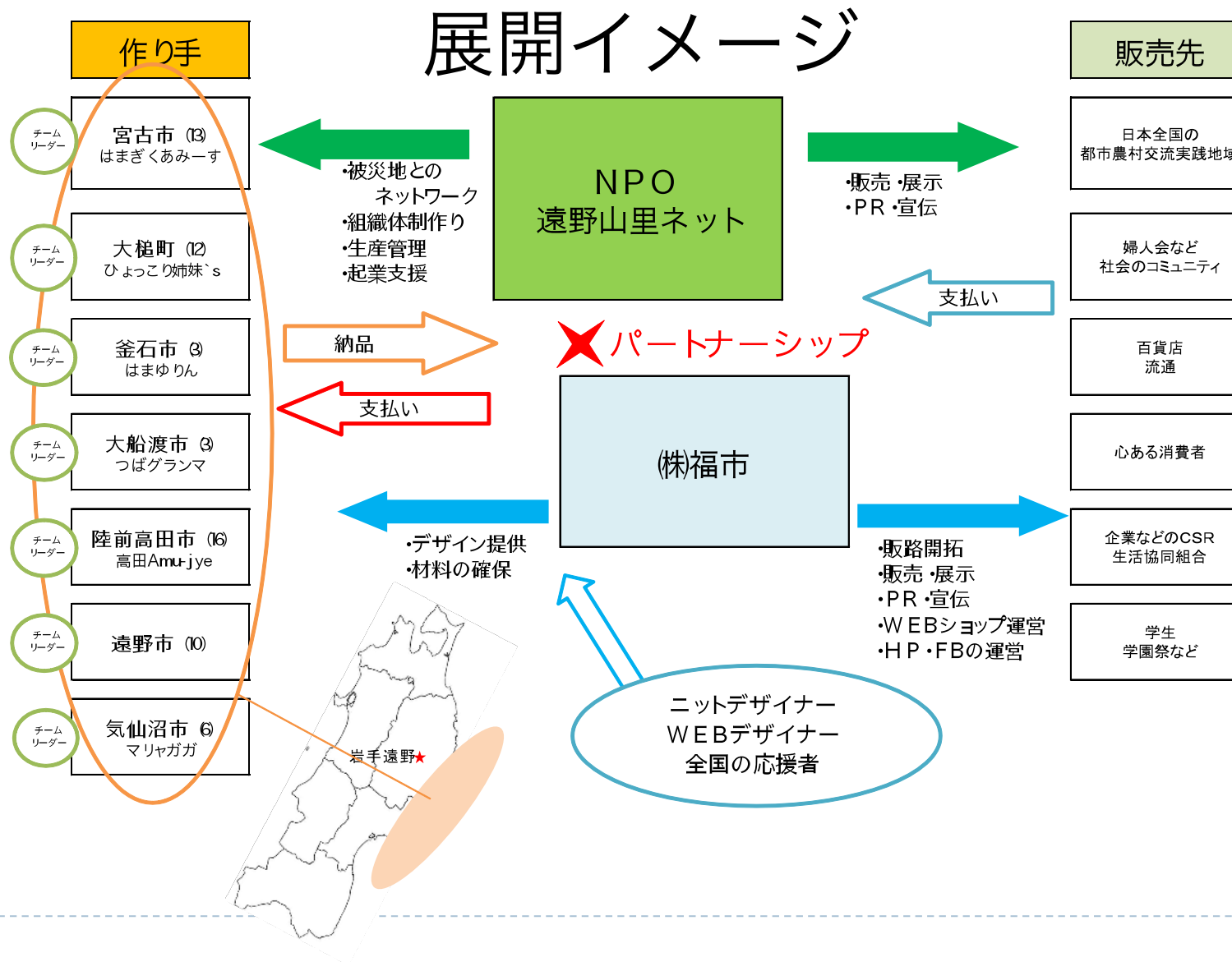
株式会社福市(大阪府大阪市)

- ・ 設立 2006年11月 代表取締役 高津 玉枝
- ・ カンボジア・ブラジル・コロンビア・タイ等
貧困エリアで作られた商品を扱う途上国支援
- ・ フェアトレードのセレクトショップを百貨店等で展開



- ・ 事業構築
- ・ 販路確保
(デザイン)

EAST LOOP ~心を編み、心を紡ぐ、~



「EAST LOOP」に込める想い

- ・ 小さな仕事を通じて、被災した人々の尊厳を保つ
- ・ 仕事を通じて、精神的なサポートにつなげる
- ・ 本体価格800円の約50%は生産者グループ収入
- ・ 被災地と全国の人々がハートでつながること
- ・ 一般の人たちが商品を通じて
サポートできる機会をつくり
震災のことを忘れさせない



EAST LOOP ~心を編み、心を紡ぐ、~

笑顔、笑顔、笑顔



講習会やグループ化



陸前高田市での講習



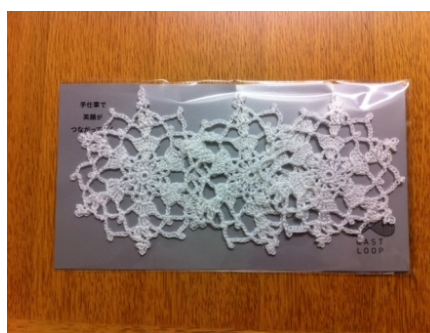
大槌町での講習

品質管理 ～NPO遠野山里ネット～



- ・ 作り手さんへの
製作手配・商品回収
- ・ 在庫管理
- ・ 品質管理

商品開発～(株)福市～



売れるものを作る。一流のデザイナーとのコラボ

P R ・ 営業～(株)福市～



百貨店・イベント・ネットワーク活用

メディア掲載

（第3種郵便物認可）

2014年(平成26年)5月3日(土曜日)

青森

被災者の小物作り支援



被災者が作ったニット製品を手にする菊池会長（1月2日、遠野市）

遠野のNPO

明日への 一歩

法人は2003年、都市住民が農山村に滞在する「グリーンツーリズム」を普及させるために設立され

遠野市のNPO法人「遠野山・里・暮らしネットワーク」が、東日本大震災の被災者が仕事として小物を手作りすることをサポートしている。菊池新一会長（65）は「一人ひとりが自立できるように支援を続けたい」と語る。

自立促進へネット販売も

た。自動車学校と連携し、乗車や農家民泊を取り入れた運転免許取得の合宿を企画するなどしている。

元遠野市職員だった菊池さんは震災時、法人の事務所だった。経験したことのないような長い揺れが続き、停電した。車のガソリンが尽きた。車を動かすことができなかった。映像と、映っていたのが沿岸部を襲った津波の映像だった。被害の大きさを直感し、法人を挙げて支援することを即断した。

当初は被災地の情報発信や救援物資の配布などに力を入れた。被災者が仮設住宅に移り住むようになり、11年7月から、大阪府の雑貨販売会社と協力して始めたのが、被災者の手仕事づくりだった。

仮設暮らしの女性らに、プロがデザインしたハート型のフロッピーやシュシュを毛糸などで手編みしてもらった。それを大阪のデパートなどで販売した。価格の約半分が被災者の収入にな

る。作り手は最も多い時で200人。月15万円の収入を得る人もいた。

菊池さんは現金を給料袋に入れて手渡した時の被災者の笑顔が忘れられない。「手仕事が好きになる、働くことに対する意欲が高まっていった。前向きに生活できるようになり、震災前に働いていた水産加工場に復帰した女性もいたという。

今では作り手は50人ほどに減ったが、手仕事を続ける女性たちの技術力はどんどん向上している。6、7日には、世界的人気のある「アルネ&カルロス」を遠野市に招き、被災者を指導してもらった。

菊池さんは「当初は被災地グッズとして売っていたが、製品のレベルが高いので、今でもニーズがある。今後は被災者がデザインしたオリジナル製品をネット販売することにも取り組みたい」と話している。

（21）地 域

（第3種郵便物認可）

青森

県南

北欧から被災者支援

遠野でノルウェーの芸術家 手芸の技術伝授

ノルウェーのニットは同市のNPO法人遠野山・里・暮らしネットワーク（菊池新一会長）が運営。岩手、宮城両県の被災者約200人が、毛糸でハート形アローチなどを手編みして販売している。ワークショップは、趣旨に賛同した同デューオのアルネ・ネルヨデットさんと、カルロス・サキリソンさんの協力で初めて実現した。

6日は同市附馬牛町の遠野ふるさと村で実施し、参加者が2人の実演やアドバイスを受けながら花形のコースターを編んだ。

宮古市長町の伊藤文子さん（54）は「手編みの商品作りが、仮設住宅暮らしの生きがいになっている。世界的に有名なアーティストの手さばきを間近で見るのができて光栄だ」と喜んだ。

2人は「日本の人々と直接交流ができる幸せな機会を頂いた。自分たちができる支援を続けたいし、（同プロジェクトの）素晴らしい活動をPRしていくと協力者を募りたい」と話した。



参加者と笑顔で交流するアルネ・ネルヨデットさん（左）とカルロス・サキリソンさん（左から2人目）

販売店	
花巻支局 0198(24)7744	前沢 (56)8223
北上支局 0197(63)4265	一関 (23)3323
奥州支局 0197(23)3751	山田 (25)5776
一関支社 (26)3000	平泉 (46)2508
0191(23)4124	花巻 (82)5200
一関支局 0191(53)2131	川崎幹栄 (43)2198
遠野支局 0198(62)3329	石巻 (45)3155
	釜山 (47)2370
	大津 (44)2444
	大津 (45)3330
	北上 (63)3327
	川口 (69)2228
	川口 (72)3135
	川口 (82)2219
	水沢 (24)1156
	水沢 (35)2035
	遠野 (62)2524
	上野 (65)2648
	宮守 (67)2213
	金ケ崎 (42)2205
	鮎沢 (66)2129

2014年5月7日岩手日報

2014年5月3日読売新聞

世界的なデザイナーの招聘

世界的なデザイナー アルネ&カルロス 招聘



作り手と世界的デザイナーアルネ&カルロスとのワークショップ

オリジナルグッズの開発



合同会社東北クロッシェ村構想①

～チャリティグッズからビジネスへ～

岩手県遠野市を拠点に 2014 年 1 月設立

代表社員 佐々木盛子

概要

被災者女性の手仕事プロジェクトに参加の女性たちが新たなビジネスとして、『東北クロッシェ村』を立ち上げた。今後の展開は、日本初のニットミュージアム・レストラン・ワークスペースを設置し、他の女性たちにも呼びかけ、都市農村交流。海外からの来訪も目指すプロジェクト。

現 状

- ・被災地復興遅れ
- ・風化
- ・生業の喪失

- ・支援の減少
- ・二次被害の防止
- ・人口の流出

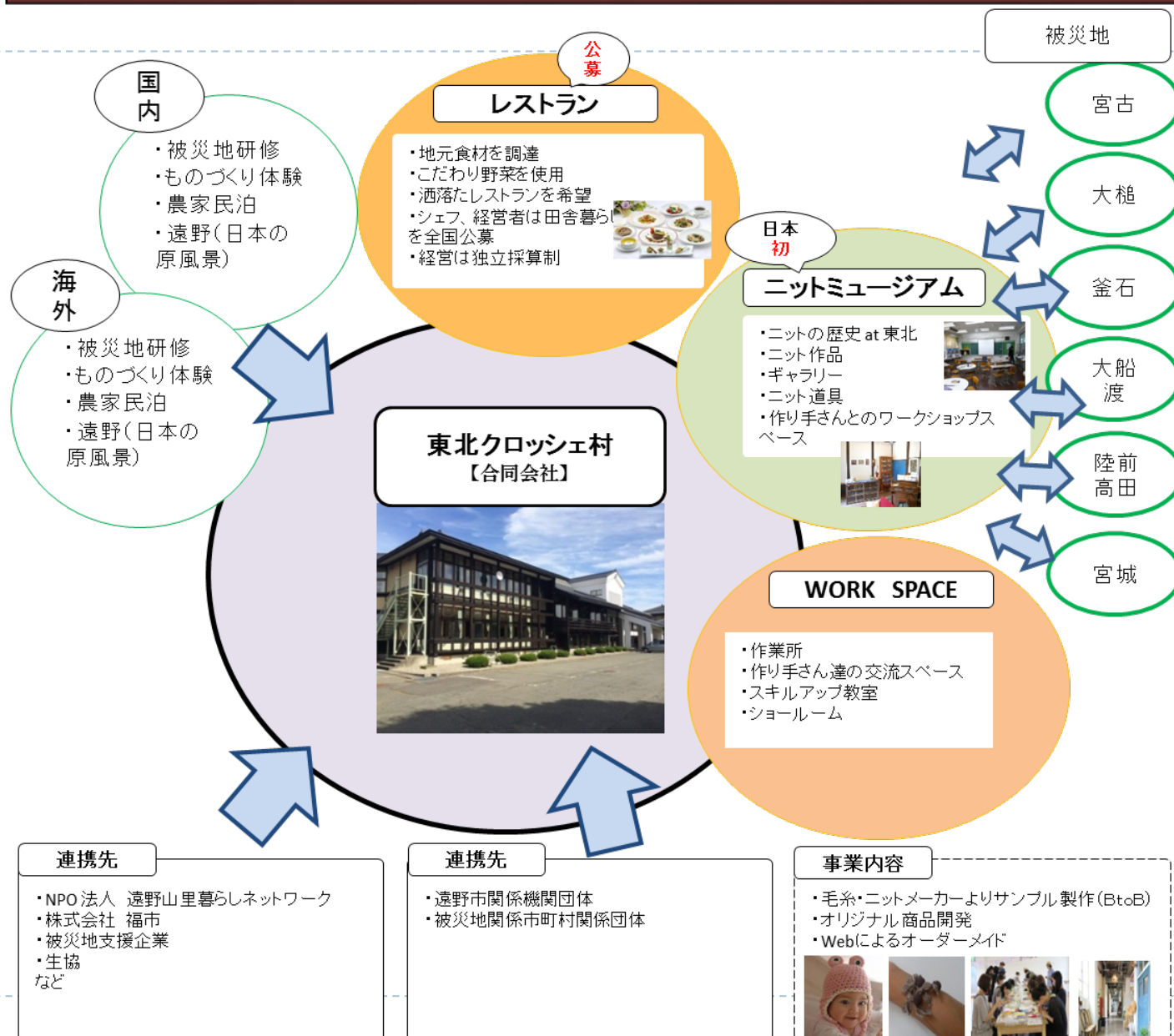
課 題

エリア特性

- 被災地には復興のための編み物グループがたくさんでき、結果多くの安定した商品を作ることができる人たちが育った。
- 遠野という場所がすべての被災地のハブになっている。
- 日本の原風景が残っており、再び訪れたくなる場所。
- 岩手は日本の羊毛の歴史のある地域(?)

合同会社東北クロッシェ村構想②

<東北クロッシェ村構想>



これからも
羽ばたいていきます！

はたらくことは、
生きること

ご清聴ありがとうございました。